

(八) 銀婚大典記念海上運動會

大正十四年十月三十一日の大長節を卜し、聖上皇后兩陛下の銀婚式を紀念祝賀する意味に於て、神戸高等商船學校の好意により、神戸市外深江の同校裏海面を使用し、海事協議會の主催の下に盛大なるボートレースを施行し、海事思想の普及海上に於ける人命救助作業の練習等の爲めに大に資するところがあつた。

(九) 大正十四年度労働祭

本組合は神戸に於ける海陸諸團體と共に大正十四年五月一日大倉山に集合し、新聞地、茶町等を経て上筒井まで示威運動を行ひ、大正十四年のメイデーを祝賀した。

(十) 労働代表一行送別會

第八回及第九回國際労働總會に出席する労働代表船崎組合長、同顧問都竹海員協會主事、同職員赤崎寅藏氏の渡歐を壯ならしむべく本組合は海員協會、海友婦人會と共に共同主催の下に、三月二十九日午後六時より神戸市平野五郎池共益俱樂部に於て其送別會を開催した。來會者三百餘名近來稀に見る盛會であつた。

庶 事 項

(一) 本部事務所購入移轉

船崎組合長は今回私財拾萬餘圓を投じ、神戸市海岸通三丁目二十六番地に二百十六坪の敷地と建坪八十四坪(延坪二百五十六坪)の三階煉瓦建物並に附屬家屋三十八坪(延坪六十九坪)を購入され、本部事務所用として全部組合に寄附され、大正

十五年一月二十五日を以て今後絶対に變更することなき宏壯なる自己所有の建物内に其事務所を移轉したのである。

同建物は階下の事務所の外二階及三階に大廣間と相當廣い數個の部屋があり、更に三階の廣間を擴張して大講堂を建設せし外、永久的補強工事及水漕式便所並に避難梯子の取附工事を施工しつゝ、あるから、竣工の上は其位置及施設上眞に日本一の海員會館たるの名に恥じざる壯觀を呈するに至るべし。

尙組合本部の移轉と共に海友婦人會本部も亦同一建物に移轉した。

(二) 海員ホーム建設準備

今回船崎組合長は海員協會と協同して其半額(參萬圓)を支出し、大阪市港區六條通一丁目三番地に於て敷地四百五十二坪を購入され海員ホーム建設用として組合に寄附された。組合は重ね々組合長の好意に對し、大正十五年一月二十四日開催の第五回評議員會に於て左の如き決議を採擇し、直ちに一般組合員に對し其旨を報告し實行にきりか、つた。

日本海員組合員一同は船崎組合長の今回の壯舉に共鳴し、今後或る期間内に於て組合長の寄附金と同一額を別途積立立て海員ホーム建設資金として提供する事。

(三) 舊東洋俱樂部員加盟

舊東洋俱樂部は大正十四年末頃より自ら解散し部員は本組合に加盟すべしと爲す意見起り、右に關する交渉の全權を一任せられたる同俱樂部代表者山川宗彬氏は大正十四年四月下旬來神し、加盟方法につき組合側と種々協議せる結果(一)組合は舊俱樂部員より一名の常務を採用する事、(二)舊俱樂部員の組合加盟金は同俱樂部解散手當として、之を免除する事の條件の下に東洋俱樂部は正式に解散され舊俱樂部員全部組合に加盟する事となつた。